

事業名	京丹後市営 漁港施設機能強化事業	事業概要	全体計画	①総事業費 23,000千円 ②事業目的 漁港施設の機能強化により漁業活動の安全性向上を図る ③事業内容 外郭施設機能診断 ④事業期間 令和5年度～令和6年度			
地区名	京丹後地区 [間人、浅茂川漁港]		4年度までの実績	①総事業費 — ②事業内容 —			
事業主体	京丹後市		5年度計画	①総事業費 13,000千円 ②事業内容 機能診断 (間人漁港の静穏度解析)			
現況等	間人、浅茂川漁港は、沿岸漁業の流通拠点あるいは生産拠点としての必要な施設を整備してきたが、近年の海象条件の変動による荒天時の波浪により、泊地内の攪乱や岸壁の越流被害が発生し漁業活動に支障が生じている。		負担割合	国:50%,府:16.7%,市町:33.3%			
事業効果	漁港施設の機能診断を行い、診断結果に基づいた防波堤整備工事を実施することにより、漁業活動の安全性向上及び漁港機能の確保を図る。		年度区分	年度	R3まで	R4	R5
コスト削減	外郭施設の機能強化を行うことにより、漁港施設への波浪の影響を低減し、老朽化を抑えることによりコスト縮減となる。	事業費(千円)	0	0	13,000	10,000	
環境・景観への配慮	漁港施設の機能強化工事の実施により施設損壊を回避、長期間健全な状態を維持することで、周辺環境への影響を低減する。						

【概要図】

間人漁港



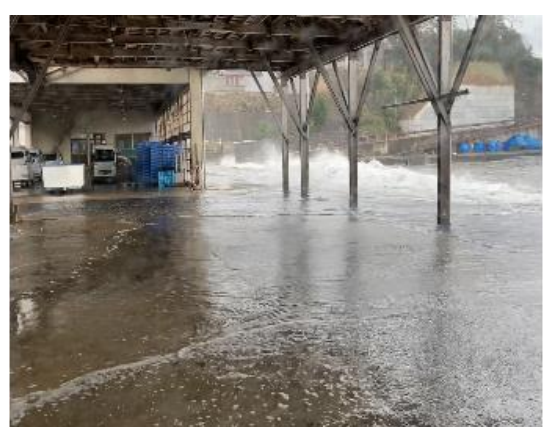
- 凡例
- 令和3年度
  - 令和4年度
  - 令和5年度
  - 令和6年度

【写真】



間人漁港全景

【写真】



波浪時の状況